



## 鎮守の森コミュニティ・プロジェクト

# 心身の癒し 長崎県壱岐市 ウェル・ビーイング班

2023/2/29

鎮守の森コミュニティ研究所

特別研究員 倉橋陽子  
Yoko Kurahashi

[k\\_yoko@showten.main.jp](mailto:k_yoko@showten.main.jp)

今までの知見を生かし課題解決をソフト事業で推進する

## 河内長野市の森林ソフト事業 ＝森林空間を活用する/普及啓発・人材育成



森林\*



木のおもてなし事業2021モデルツアー認定by国土緑推  
「木の恵み祈り～江戸時代から続く河内林業と里の暮らし～」

# 釈迦に説法ですが、、、森林の8つの役割

(画像参照) <https://gifunoki.net/know-the-tree/the-role-of-forest/>



資料：丸山岩三「森林水文」実践林業大学(1970)

**木材**やキノコや山菜など**食料**が取れる

さまざまな**生き物のすみか**となる



気候を**安定**させる・二酸化炭素の**吸収**

土砂崩れや台風などの**災害を防ぐ**

**水**をたくえる・**水源**



ほこりの**吸収**や**汚染物質の吸収**など**快適な環境**を作る

景色、川のせせらぎやすがすがしい空気など、**人に安らぎ**を与える

**文化**を伝える・**学び**の場



資料：村井宏・岩崎勇作「林地の水および土壌保全機能に関する研究」1975

資料：本報「森林がもたらす健康増進効果」(1)8編(2)第1版、4(2)

# 森林＊教育/循環:グローバルESG企業の地域店



スターバックス河内長野高向店との森林循環プロジェクト



## 一番身近な森林 木々は店の植栽



詳細説明記事



詳しくは動画と別紙: 11/1読売新聞特集

# 森林＊学校教育

## 森林ESD河内長野モデル： 3本柱のプログラム

### (1) 出前出張

「出張・木根館kinkonkan」

### (2) 体験プログラム

「森林と私たち」+

「林業の川上から川下まで」

### (3) 教員研修

体験プログラム実施。

最新情報の提供、体験プログラムに  
対する意見交換、問題共有。

2020年度から森林環境譲与税を利用し、河内長野市立小学校  
「5年社会科」全校授業予算化・実施 11/13校・その他市町村多数





先生の負担一切無しの日



子どもたちと先生に一番やってもらいたいのがコレ  
森林で心身の癒し



# 子どもたちも入って安心感のある森林＝昔から地域の人に大切にされてきた森林＝磐座や湧水のある場所

岩瀬・塞の神奥



行者湧水



# 森林＊健康

・森林セラピー ・森ヨガ

## 山の上のヨーガ教室

安心感のある森  
＝鎮守の森



デジタル書籍



毎月第4土曜日 **観心寺・鎮守の森**でヨガ/ 年4回 **岩湧寺の森**でヨガ

# 安心感のある森＝鎮守の森



岩湧寺  
役行者開く・経塚のある寺  
住職は常駐していないが地域の  
人々が管理。市の自然観察施  
設もある



観心寺  
役行者開く・後村上天皇陵や檜  
皮の森を背後に国宝の金堂や  
如意輪観音像がある地域に慕  
われたお寺



# 壱岐島における鎮守の森と心身の癒し

2022/7-2024/2報告

# 壱岐/鎮守の森コミュニティ・プロジェクトの目的 ウェル・ビーイング(心身の癒し)班

本プロジェクトは、神々の島と呼ばれる壱岐において「鎮守の森」のルーツの場所としての性格を持つ地域資源を生かしながら、**自然信仰と一体となった心身の癒しや地域再生を軸として、人間と自然が共生する新たなモデルづくり**を行う。

具体的な壱岐ならではのアウトプットを目指しています。

博多港から  
高速線で60分



# プロジェクトのフェーズ



2022年秋

- ①プロジェクトスコープ
- ②地域資源の研究
- ③人的資源の研究



2023年3月

- ④研究をもとに、たたき台コンテンツの試行
- ⑤地域内外の接点



2023年12月-

- ①滞在期間ごとのウェル・ビーイングメニューを2022年調査・実証ワークにより再編集

- ②地域での人的持続可能な仕組み

2024年

- ③地域人材とのスキームづくり
- ④ツールの開発



# 本プロジェクトの目指す心身の癒し＝統合的健康観

ウェル・ビーイング「健康」の定義

「完全な身体的(physical)、精神的(mental)、自己存在(Spiritual \* 1)及び社会的(social)なウェル・ビーイング状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」

"Health is a dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity."

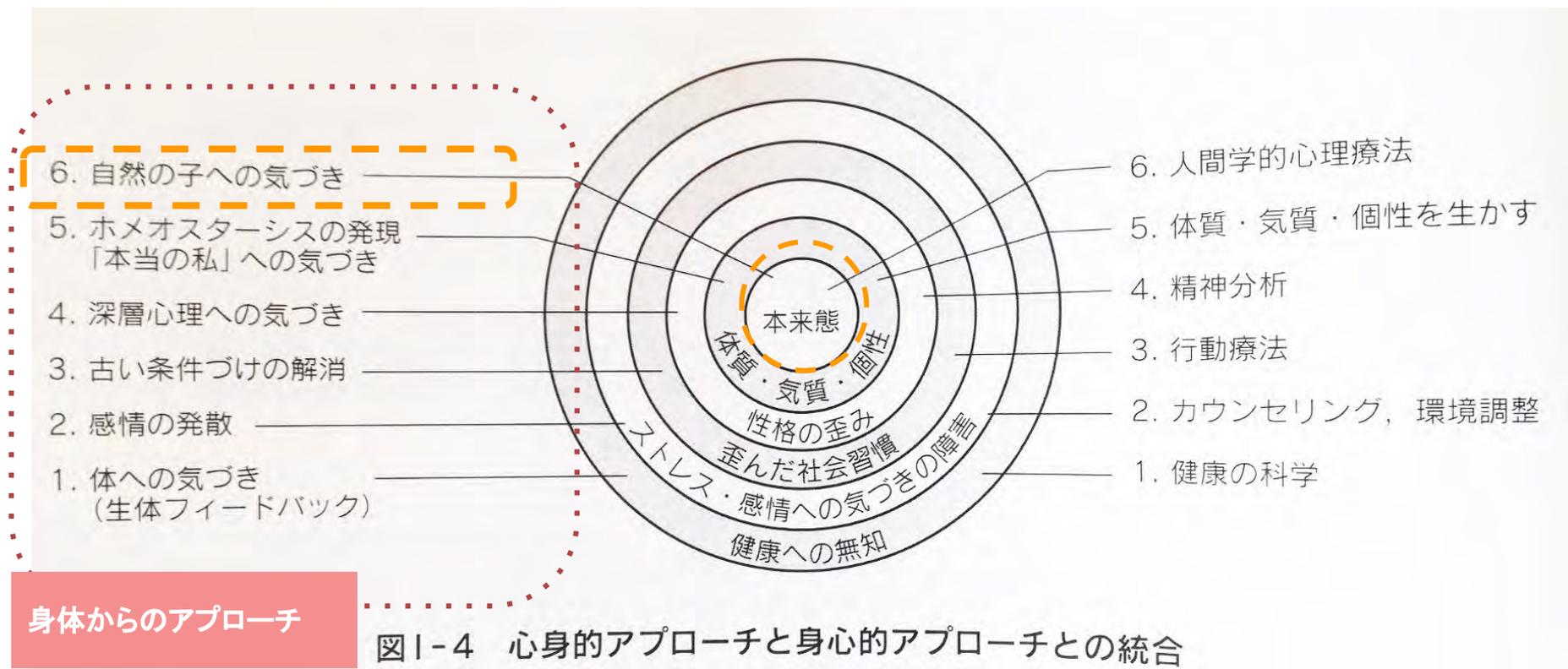
平成10年のWHO執行理事会(総会の下部機関)において、WHO憲章全体の見直し作業の中で、「健康」の定義

**＋ 地球規模の視点Think Globally, Act Locally, Watch Universally  
(地球規模で考え、ローカルに実践し、宇宙的に見る)**

(\* 1) Spiritualityは人間の尊厳の確保やQuality of Life(生活の質)を考えるために必要な、本質的なものであるという意見(WHO執行理事会)→ここでは「自己存在」として訳します。



# 本プロジェクトにおけるアプローチ方法



心身的アプローチと身心的アプローチとの統合: 心身医学標準テキストより



# 目指すイメージ感

壱岐の自然と  
神々の島の特性は  
「自然の子」への気づき、  
実感を伴ったアプローチ  
が可能



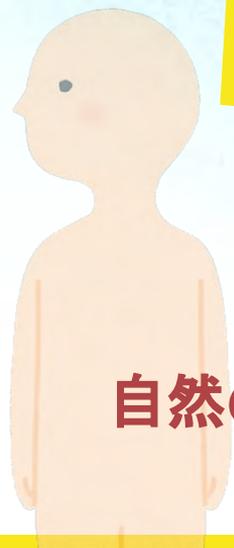
地域のコミュニティと連  
携し社会との接点を増や  
す  
「必要とされる自分」

自然の子として 社会に生きる

# アプローチ・コンセプト [身体 \* 時間軸]

(虫の目線)

今ココ  
内観



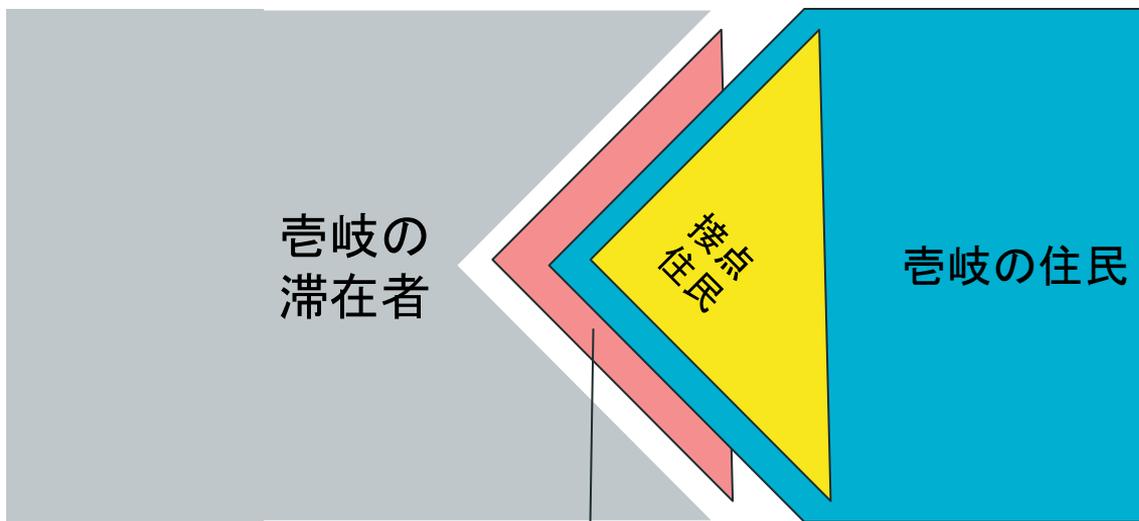
自然の一部である実感

(鳥の目線)

長期的軸  
客観視



# 本プロジェクトにおける対象者

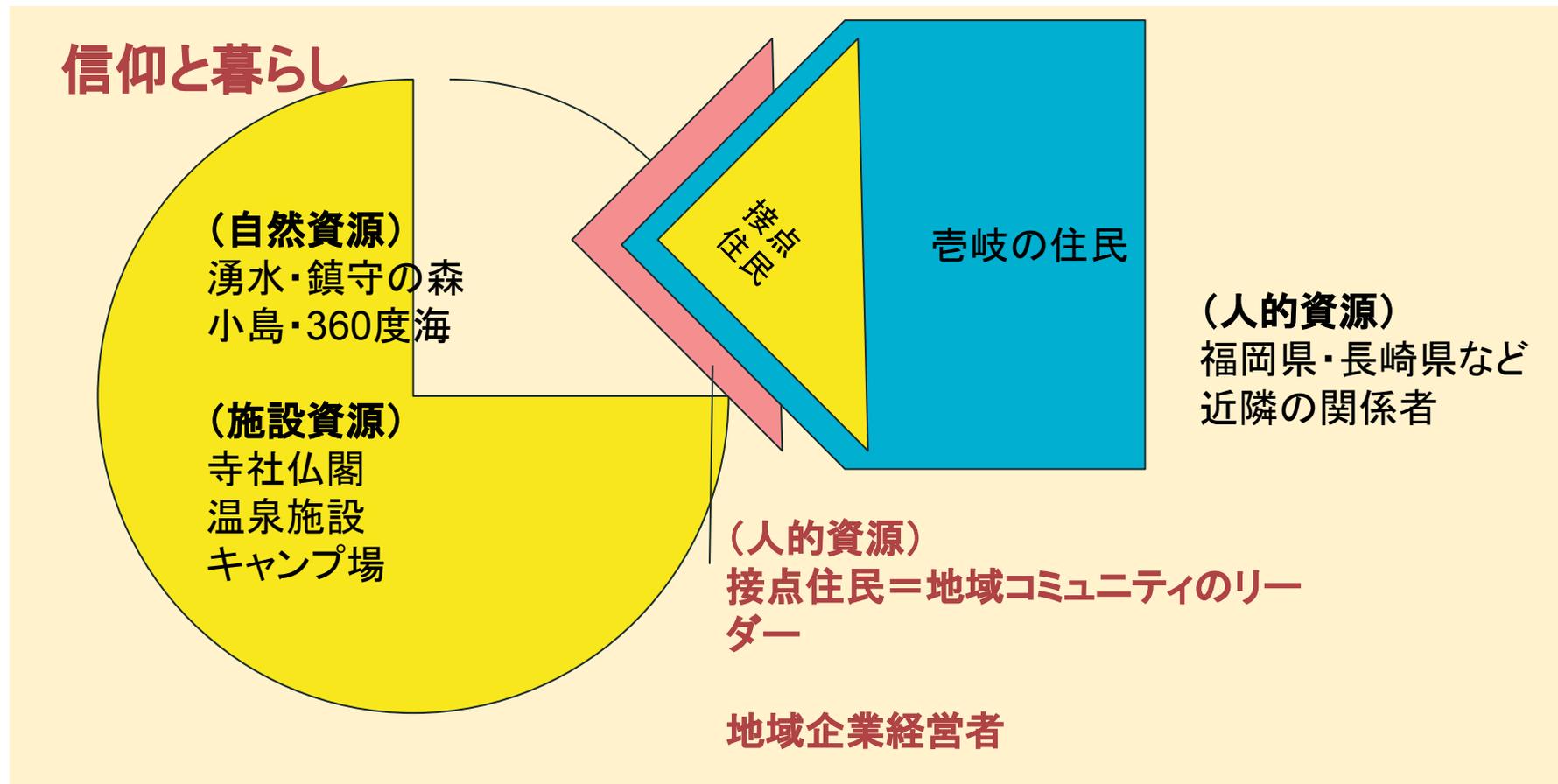


福岡県・長崎県など近隣の関係人口

壱岐に住む人にとっても、滞在者にとっても健康を促進する・心身を癒す



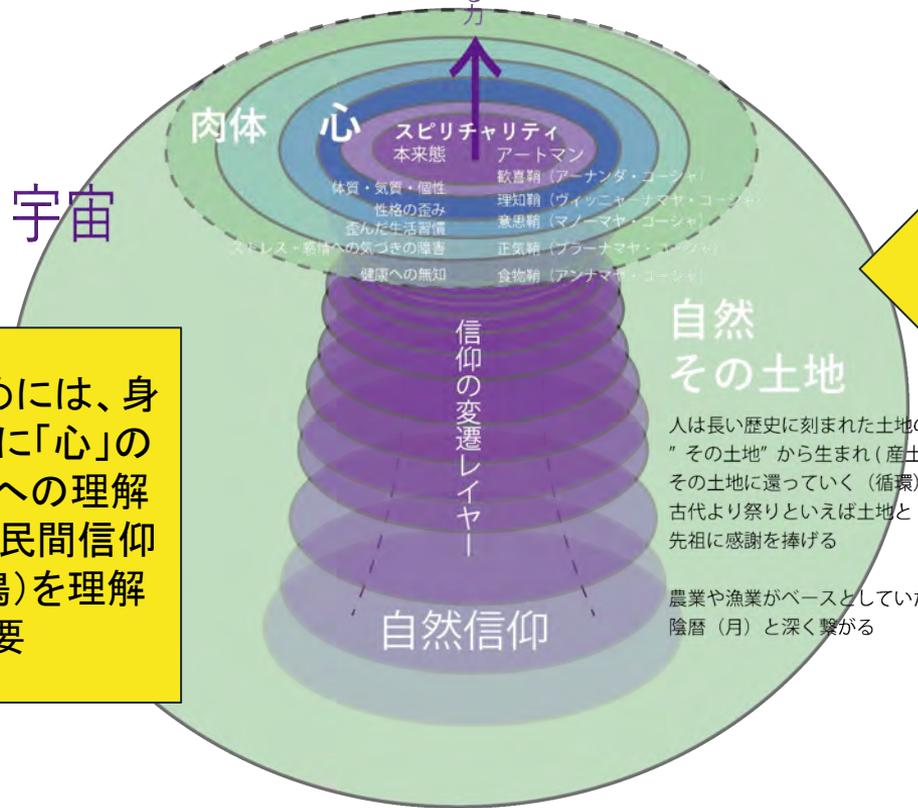
# 本プロジェクト資源リサーチ



# その土地の信仰と心身の関わりイメージ

よりよく生きようとする力

よりよく生きようとする力は、  
 感受性の広がり、  
 共鳴共振 (Sympathetic Resonance)  
 の営みのなかに現れる  
 →肉体と自然との共鳴共振が伴う  
 自然との一体感を身体でもって感じる  
 自然信仰をベースとした民間信仰の営みが重要



肉体

心

スピリチャリティ  
 本来態  
 体質・気質・個性  
 性格の歪み  
 歪んだ生活習慣  
 ストレス・感情への気づきの障害  
 健康への無知  
 アートマン  
 飲食精 (アーナンダ・ゴージャ)  
 理知精 (ウィットニヤ・ゴージャ)  
 意思精 (マノーマヤ・ゴージャ)  
 正気精 (ブラーナマヤ・ゴージャ)  
 食物精 (アンナマヤ・ゴージャ)

宇宙

信仰の変遷レイヤ

自然  
 その土地

人は長い歴史に刻まれた土地の化身  
 "その土地" から生まれ (産土・ウブスナ)  
 その土地に選っていく (循環)  
 古代より祭りといえば土地と先祖に感謝を捧げる  
 農業や漁業がベースとしていた  
 陰暦 (月) と深く繋がる

自然信仰

その土地利用のメッセージは、地域民間信仰に眠る

心身の健康を扱うためには、身体  
 の系統進化と同時に「心」の  
 系統進化のプロセスへの理解  
 が重要＝その土地の民間信仰  
 (自然と人間との共鳴)を理解  
 することが重要



# 当プロジェクトで重視するアプローチポイント

- ① 身体アプローチを重視
- ② コミュニティの安全性
- ③ 自然の中でのアプローチ
- ④ 長期的な時間軸を意識する
- ⑤ 自然信仰・民間信仰の特性を生かす



# リサーチ 地域資源・環境を探る

ウェル・ビーイングの視点を重視  
して



# 人的資源・接点住民リサーチ



外と内を繋いで問題解決  
一般社団法人 壱岐みらい創りサイト  
半官半民・元FUJITSUマーケティング



北海道でIT関連の企業を経営している札幌市との2拠点起業家移住者向けの公民館:コワーキングコミュニティ「クロスポート武生水」  
レンタカー事業



地域住民の起業家:島のニーズと再価値化を複業で実現  
コワーキングコミュニティ「アイランドハブ」複業の提唱と実践



Uターン接点住民:地域と外を優しくつなげる  
看護師、保健師(保健健康指導)、  
ヨーガ教師



# 香岐独自のチャレンジや外部との接点の仕組み

## 香岐なSDGsアクション

一般社団法人 香岐みらい創りサイト主催  
(スタッフ=半官半民) サウンディング型市場調査の場

香岐市役所内にもSDGs未来課:

SDGs未来都市として、香岐活き対話型社会「香岐(粋)な Society5.0」の実現を目標に掲げ、島内外を問わず多様な人が交流し、広く深い相互理解を築く対話(コミュニケーション)を活性化させることで、誰一人取り残さない持続可能な地域社会を構築していくまちづくりを推進

地域の小学校・中学校・高校・一般の方で何かにチャレンジしたいことを発表し市民や企業が支援する対話会

次世代が目線を地域に向ける・対話  
複数のコミュニティに帰属する重要性



香岐なSDGsアクション2023

2023年度第3回目の対話会は市内小学生、中学生、高校生、市民が取り組んでいるSDGs活動を発表します。お気軽に参加いただける発表会ですので、ぜひご覧ください。(発表会途中の入退室は自由です)

**開催日** 2024年 2月 23日(金曜・祝日) 午前9時～午後1時(予定)

**場所** メイン会場:石田農村環境改善センター 大集会室  
サテライト会場:クロスポート武生水、香岐イルカパーク&リゾート  
(サテライト会場では、メイン会場の発表を生中継でご覧いただけます)

**発表**

- ・小学生(海洋教育プロジェクト)
- ・中学生(住みつつけたいまづくり運動) 中学校4校
- ・高校生
- 香岐高校5チーム 商業高校1チーム
- ・一般テーマ

(写真は前年度発表会の様子)



柳田小学校 石田中学校 高校生natureチーム 一般テーマ

お問い合わせはこちら  
一般社団法人香岐みらい創りサイト  
〒811-5322 香岐市戸切町深江 電話 1092-5  
☎0920-40-0231  
【営業時間】 9:00～17:00 【定休日】 土日・祝日

当日はYouTubeで対話の様子をライブ配信できます。フォームに入力いただくとメールで視聴URLをお送りします。



# 壱岐市民の健康データ: 身体

身体的(physical)健康: 2023年11月24日壱岐市健康増進課におけるヒアリング

(壱岐市の国保KDBデータ) 壱岐市における健康課題

・高血圧・肥満・糖尿病・腎臓の重症化。特に女性の脂肪肝2倍・高尿酸血症・脂質異常症

・また骨折が多いことも特徴

(原因)・**車社会による運動不足**・農業の機械化による運動量の低下・塩分の多い食生活・朝食の欠食率が高い・就寝前の夕食摂取が多いことが原因。食物自給率が高い故の豊かな生活(特に魚の量が多い)、またアルコール摂取は高く(1日2-3合以上が多い)壱岐ならではの原因。

・検診の未受診・未医療の方も多く、検診率の向上(50%・60%が目標値)であるが、50%での横ばい

・**趣味が少ないのも特徴**。特に働いている人は、社会的なコミュニティ(させられるボランティア)が多く、自分のために使える時間が少ないことも、保健師からの目線で感じる人が多いとのこと。社会参加ができる人は楽しめ、社会参加できない人は家から出ないという両極端な面を持つ。

(対策)楽しむための健康検診として歩く人たちを増やす取り組み、ケンコムや健康フェアなど、どうやって外に出すかに取り組んでいる。また、介護申請がない人が埋もれているので、民生委員と連携している。



# 壱岐市民の健康データ:心

## 精神的(mental)健康:

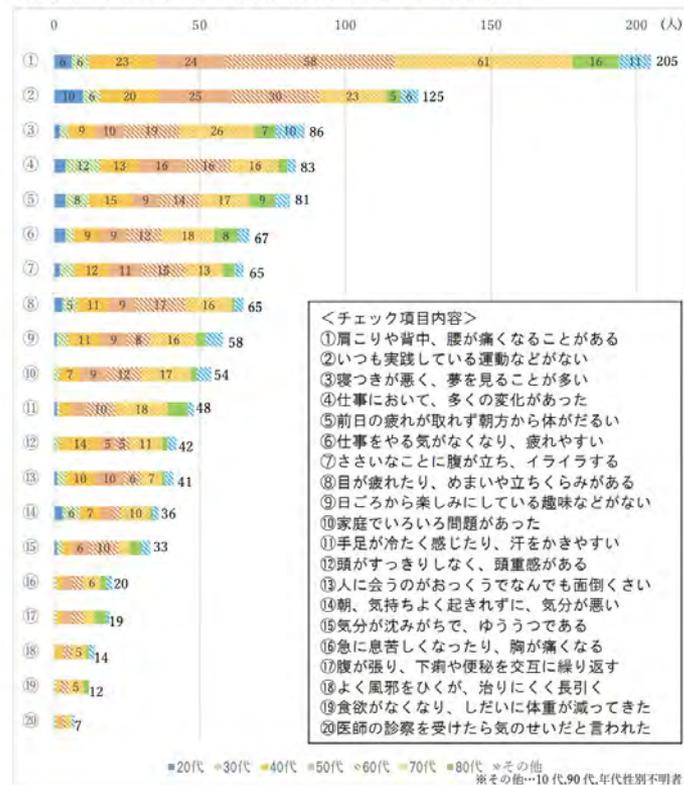
平成29年から令和3年までの5年間の自殺者数は31人  
それ以前の5年間(平成24年から平成28年)の自殺者数41人  
比較すると24.3%減少。

<https://www.city.iki.nagasaki.jp/material/files/group/37/dai2zikeikaku.pdf>

## R1-4(心のストレスチェック回答内容によるベスト10)

- ①肩こりや背中、腰が痛くなることもある
- ②いつも実践している運動などが無い
- ③寝つきが悪く、夢を見ることが多い
- ④仕事において、多くの変化があった
- ⑤前日の疲れが取れず朝方から体がだるい
- ⑥仕事をやる気がなくなり、疲れやすい
- ⑦ささいなことに腹が立ち、イライラする
- ⑧目が疲れたり、めまいや立ちくらみがある
- ⑨日ごろから楽しみにしている趣味などが無い
- ⑩家庭でいろいろ問題があった

【図表11】心のストレスチェック回答(令和1年~令和4年)



- <チェック項目内容>
- ①肩こりや背中、腰が痛くなることもある
  - ②いつも実践している運動などが無い
  - ③寝つきが悪く、夢を見ることが多い
  - ④仕事において、多くの変化があった
  - ⑤前日の疲れが取れず朝方から体がだるい
  - ⑥仕事をやる気がなくなり、疲れやすい
  - ⑦ささいなことに腹が立ち、イライラする
  - ⑧目が疲れたり、めまいや立ちくらみがある
  - ⑨日ごろから楽しみにしている趣味などが無い
  - ⑩家庭でいろいろ問題があった
  - ⑪手足が冷たく感じたり、汗をかきやすい
  - ⑫頭がすっきりしなく、頭重感がある
  - ⑬人に会うのがおっくうでなんでも面倒くさい
  - ⑭朝、気持ちよく起きず、気分が悪い
  - ⑮気分が沈みがちで、ゆううつである
  - ⑯急に息苦しくなったり、胸が痛くなる
  - ⑰腹が張り、下痢や便秘を交互に繰り返す
  - ⑱よく風邪をひくが、治りにくく長引く
  - ⑲食欲がなくなり、しだいに体重が減ってきた
  - ⑳医師の診察を受けたら気のせいだと言われた

## 心身ともに対策として有効

- ・無理のない運動習慣
- ・睡眠改善
- ・趣味などの多様なコミュニティとの接点の機会

# 吉岐のコミュニティ

| コミュニティ               | 特徴  |
|----------------------|---|
| 職場                   | 観光産業、一次産業、公共機関に従事する大まかなカテゴリー。産業が違う経営者同士のコミュニティもある。  |
| 学校                   | 小学校校区は半径2キロ。徒歩による移動が基本である時代のコミュニティ(知らない地名を地元の人が使う帰属意識の範囲は2キロ半径)市立小学校18校、市立中学校4校、県立高校2校<br>卒業後の出身同窓会コミュニティも存在する。   |
| 地域                   | <b>5つの集落。しかし地域活動(大体毎週土曜日に行う清掃など)の範囲は、小学校校区半径2キロで、神社氏子の大体の範囲とほぼ重なっている。</b>   |
| 趣味・サークル              | ・高齢者サロン64箇所(月1回から週に何回か)<br>・介護予防教室の通いの場(サロン)の数は現在、65件。<br>内訳として座学と運動等を組み合わせた介護予防教室 28件・運動をメインとしたもの(座学を含む場合もあります) 24件<br>・趣味(手芸やカラオケなど)をメインとしたもの(座学を含む場合もあります) 13件<br>・その他ママ同士のコミュニティや習い事のコミュニティも存在する。   |
| その他<br>吉岐の特徴的なコミュニティ | ・ <b>神職コミュニティ</b><br>1人の宮司が複数の神社を管理している。約 700年続く神楽(国指定重要無形文化財)などの連携から、吉岐ならではの神職コミュニティが存在する。神楽は神職しか演奏や舞を行えない。<br>・ <b>移住者コミュニティ</b><br>芦辺や勝本などを中心とした移住者や地域おこし協力隊など、移住者コミュニティが存在する。<br>・ <b>Uターン先コミュニティ</b><br>吉岐から一度出た先の地域ごとのコミュニティが存在する。大阪、福岡、東京などが多い。そこで配偶者候補を探したり、吉岐に戻ってきたときの地域コミュニティ以外の居場所として機能している。 |



# 壱岐における 鎮守の森の価値

鎮守の森がある恩恵と意味

心身の癒し  
well-being班

2023.10 鎮守の森コミュニティ研究所  
特別研究員 倉橋陽子

壱岐におけるそれぞれのレイヤーごとの特性

- ① 信仰の特性
- ② 森林資源の特性
- ③ 土中環境の特性
- ④ 暮らし・景観の特性

# なぜ鎮守の森と心身の癒しwell-beingか 「人間と森林」の関係性/森ヨガの基本ベース

心身の深層の部分である本来態へのアプローチは  
「自然の子への気づき」が重要だと位置付けられている。

それぞれの土地の神様「産土神(うぶすながみ)」\*の子＝自然の子  
という意識から解離している現代。

「私たちが鎮守の森に神々をみる意味」を壱岐という鎮守の森と密接に関わる土地でその意味を紐解く。

鳥居＝鳥が運んでくるタネは森や里の多様性を作る  
生物から人類の系統進化が私たちの今の状態をつくる(身体:脳=8:2)

\*鎮守の神さまである産土神＝産土とは生まれた土地という意味で、その土地を守護してくれる神さま

# 壱岐は古代文化の複層パッケージ: 深層

壱岐市立一支国博物館 (<http://www.iki-haku.jp/>)  
に明記されている歴史史跡だけで以下の歴史がある。(時代ごとに倉橋により再編集)

## 旧石器時代後期～終末期

- ・カラカミ遺跡〔勝本町〕からナイフ形石器や台形状石器が見つかる
- ・原の辻遺跡〔芦辺町・石田町〕からナイフ形石器や台形状石器が見つかる
- ・原の辻遺跡からナウマン象やオオツノジカの化石が見つかる

## 縄文時代

- (縄文時代前期～晩期)
- ・名切遺跡〔郷ノ浦町〕にドングリを貯蔵する穴が造られる
- (縄文時代早期～後期)
- ・松崎遺跡〔勝本町〕から、縄文土器や石器が見つかる
- ・鎌崎遺跡〔郷ノ浦町〕から縄文土器や石器が見つかる

## 弥生時代

- (弥生時代前期末)
- ・原の辻遺跡の丘陵部に集落が形成される
- ・カラカミ遺跡に集落が形成される
- (弥生時代中期前葉)
- ・原の辻遺跡のある丘陵部のまわりに環濠が掘られ、船着き場が完成する
- (弥生時代中期初頭)
- ・車出遺跡群〔郷ノ浦町〕に集落が形成される
- (弥生時代中期前葉)
- ・原の辻遺跡でシカ・イノシシの肩甲骨を使ったト骨が行われる
- (弥生時代後期)
- ・カラカミ遺跡でシカ・イノシシの肩甲骨を使ったト骨が行われる
- ・原の辻遺跡が「一支国」の中心集落〔海の王都〕として栄える
- ・天ヶ原セジョウ神遺跡〔勝本町〕に、中広形銅矛3本が埋納される
- ・『魏志』倭人伝に「又南渡一海千餘里名曰瀚海至一大国官又曰卑狗副曰卑奴母離方可三百里多竹木叢林有三千許家差有田地耕田猶不足食亦南北市糶」の57文字で一支国の様子が記載されている
- (弥生時代後期前葉)
- ・原の辻遺跡の低地にある居住地が丘陵部に集中する  
船着き場が埋まり、環濠が再掘削される
- (弥生時代後期 古墳時代前期)
- ・4世紀中頃、原の辻遺跡にあった環濠集落が解体される



## 古墳時代

(弥生時代後期 古墳時代前期)

- ・4世紀中頃、原の辻遺跡にあった環濠集落が解体される

(古墳時代前期)

- ・大久保遺跡〔石田町〕から、この頃に造られた積石の石棺墓が見つかる
- ・片苗イシロ遺跡〔勝本町〕から、5世紀前半頃の住居跡が見つかる

(古墳時代中期)

- ・5世紀後半頃、大塚山古墳〔芦辺町〕に竪穴系横口式石室の小型円墳が築造される
- ・6世紀前半頃、妙泉寺古墳〔芦辺町〕に円墳が築造される

(古墳時代後期)

- ・6世紀後半頃、松尾古墳〔郷ノ浦町〕に円墳が築造される
- ・6世紀後半頃から、百田頭古墳群・山の神古墳群・釜蓋古墳群〔芦辺町〕に円墳が築造される
- ・6世紀後半頃、双六古墳〔勝本町〕に全長約1mの前方後円墳が築造される
- ・6世紀後半頃、笹塚古墳や掛木古墳〔勝本町〕、兵瀬古墳や鬼の窟古墳〔芦辺町〕に横穴式石室の大型円墳が築造される
- ・6世紀中頃、対馬塚古墳〔勝本町〕に全長約3mの前方後円墳が築造される
- ・椿遺跡〔石田町〕に拠点形成される
- ・串山ミルメ浦遺跡〔勝本町〕に集落が形成される
- ・7世紀後半頃、鬼屋窪古墳〔郷ノ浦町〕に捕鯨を線刻した画が描かれた円墳が築造される
- ・浜田遺跡〔石田町〕で製塩作業が行われる
- ・7世紀頃から、中尾遺跡〔石田町〕で製鉄作業が行われる

(487年)

- ・月読神社(芦辺町)に天月神命を祀り、高御祖神社には天月神命の祖高産靈尊を祀る【神社考】

(527年)

- ・押見宿禰が月読神社を祀る【顕宗天皇紀】

(541年)

伊吉公乙等を筑紫伊賀県に遣わし神石を求め、のちに山城国月読神社に奉納する

# 島中が博物館



# 島中が神様だらけ！

昭和50年彦岐文化財調査員会「彦岐島の民間信仰神」一覧より

## 514箇所

| NO | 神々の名前         | 主な言い伝え        | 神々カウント数 |
|----|---------------|---------------|---------|
| 5  | ヤボサ(矢保佐・矢保左)神 | 疱瘡(天然痘)       | 34      |
| 11 | 川の神・水の神       | 水に関するところ全て    | 30      |
| 9  | 山の神           | 牛馬の繁殖・オゴゼを上げる | 25      |
| 88 | 地蔵            | 身体パーツの病気・無病息災 | 22      |
| 38 | 塚墓神           | お墓・供養         | 21      |
| 2  | 恵比寿神          | 鯨組と関連         | 16      |
| 6  | 庚申            | 猿田彦           | 16      |
| 7  | 竜神            | 五穀豊穡・雨乞       | 16      |
| 21 | 牛神            | 牛の安全と繁殖       | 15      |
| 25 | 供養様           | 虫供養           | 15      |
| 89 | 観音            | 安産・子どもの病気平癒   | 15      |
| 94 | 弘法大師          | 家内安全・無病息災     | 15      |

神社庁記載

石田町26

芦辺町53

郷ノ浦町42

勝本町30

-----

151社

見えないものへの畏れ  
大切にしているものの現れ

# 壱岐における信仰の特性

広井教授資料より

原初にあった「自然信仰」が、いかなる過程で「神社」へと進化していったかのプロセスが鮮やかに残されている場所

Step1.自然信仰(“縄文”) 小島神社 女嶽神社

Step2.神社への過渡的段階(“弥生”、農耕) 原の辻遺跡

鳥 鳥信仰~朱雀(火の鳥)、太陽、超越 / 柱 柱信仰~諏訪(御柱祭)

Step3.神社としての成立(古代国家) 月読神社 大陸に対する国家的威信





## Step 1. 自然信仰（“縄文”）



小島神社



女嶽神社

(参考) 壱岐における「ヤブサ」(→沖縄の御嶽に通じる)

## Step2. 神社への過渡的段階 （“弥生”、農耕）



原の辻遺跡

- 鳥 →鳥信仰～朱雀（火の鳥）、太陽、超越
- 柱 →柱信仰～諏訪（御柱祭）

## 鳥居の起源をめぐって



韓国の「ソツテ」  
(鳥の形象物をつけた木)



タイ北部(～中国雲南省)・アカ族  
の「ロコーン」  
(村の門または村落の結界)



(出所) 鳥越憲三郎『古代中国と倭族』中公新書、2000年。

## Step3. 神社としての成立(古代国家)



月読神社

- 大陸に対する国家的威信
- 寺院(仏教建築)への対抗としての「社殿」
- 多くの式内社 … 壱岐、対馬

広井良典先生のスライドより引用

## (参考)京田辺市の月読神社

大住隼人舞について  
(京田辺市)

[https://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/oosumi-jh/htdocs/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=4996](https://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/oosumi-jh/htdocs/?action=common_download_main&upload_id=4996)

<https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000017439.html>

大住隼人(おおすみはやと)は、今から1300年ほど前に九州の大隅地域から、現在の京田辺市大住地域に移住した人々のことです。隼人の人々は当時都がおかれていた平城宮の警備や芸能活動を行い、朝廷に奉仕。

京都の松尾大社の近く、桂川と西芳寺川が合流するところが月読神社の旧鎮座

- 「隼人舞」で知られる
- “溺れる海幸彦”・・・ヤマト王権側(山幸彦)からの視点



- 壱岐の月読神社もどこかで「海人」とつながる  
？ [月読神社に該当するのは現在の箱崎八幡神社とする有力な説があり、興味深いことに同神社は海神・龍神を合祀している。]

# (1) 天然資源

## 1. 水資源: 豊富な地下水(島のみずがめ)

真ん中断層。湧水の前には祠があり、湧水に神々をみる自然信仰。

## 2. 森林資源: 天然林と鎮守の森

## 3. 海洋資源: 森の海、海の森、海里の幸

島なので360度海に囲まれている

## 4. 鉱物資源: 自然信仰のシンボル

## 5. 温泉

源泉掛け流し、源泉13箇所69度

ナトリウム-塩化物温泉で鉄分と塩分を豊富

療養規定値約15倍の高濃度温泉「湯本温泉郷」

全ての施設で加水なし・湯守



# 壱岐における森林資源の特性:全体

令和4年壱岐市発行 森林整備計画書より

<https://www.city.iki.nagasaki.jp/material/files/group/16/sinnrinnkeikaku.pdf>

**!!圧倒的特徴!!**

**0.一番高い標高が岳の辻 標高212.8m**

約20万年前、玄武溶岩流の上に噴出した火砕屑物によって形成された火山砕屑丘

**1,民有林100%**

**2,人工林率 17.5%**

**3,天然林 69.2%(前回85%)減少傾向**



| 区 分   | 面 積       | 備 考             |
|-------|-----------|-----------------|
| 総土地面積 | 13,942 ha |                 |
| 森林面積  | 4,875 ha  | 森林率 ∴ 35.0%     |
| 国有林面積 | 0 ha      |                 |
| 民有林面積 | 4,875 ha  |                 |
| 人工林面積 | 855 ha    | 民有林の人工林率: 17.5% |
| 天然林面積 | 3,376 ha  |                 |
| 竹林面積  | 426 ha    |                 |
| 未立木地  | 218 ha    |                 |

(資料: 五島壱岐地域森林計画書による)

:疑問:

鎮守の森・御神体としての森林は、民有林の中に含まれている。民間所有者は氏子さん？ 神社所有？

(結果)神社によるがほとんど氏子さん、そして鎮守の森が誰のものかなど考えたこともなかった＝コモン・フォレストの意識がまだある？

# 壱岐における森林資源の特性：暮らしとの関わり

壱岐市発行 景観の特性より

<https://www.city.iki.nagasaki.jp/material/files/group/18/chapter2.pdf>

まち並み景観より

- 1) 背戸山一屋敷一前畑を1単位とした農家が散在し、その中にビジュアルな中心のない「触」の散居集落は、いわば一種の均質空間であって、それに対比して「浦」はアクティブな活動の場であり、「触」にとっては外部にある中心地と言えるものであった。
- 2) 「浦」は密居集落であり、農地を持つことが出来なかったが、それによって「触」は農地を最大限確保し、生産を高めることが出来た。
- 3) 「触」が土地割替制度を基盤にした定住社会であるのに対して、「浦」は漂泊の世界であり、漁業、小崎の家舟、渡良浦の北前船など、海を媒介とした対外的活動の拠点であり、外へ開かれた窓口の役割を果たした。
- 4) こうした対照的な二つの世界を結ぶものとして、市が行われ、相互の交流の場となった。

この「浦」と「触」の関係は、今の壱岐市のまち並み景観の根底にあるものです。現在でも、街なみ環境整備事業が策定された勝本浦では壱岐の「浦」のまち並みを見ることができ、また、一部の農地集落部では、住宅と農地と背後の樹林地が形成する「触」の集落形態を見ることができます。

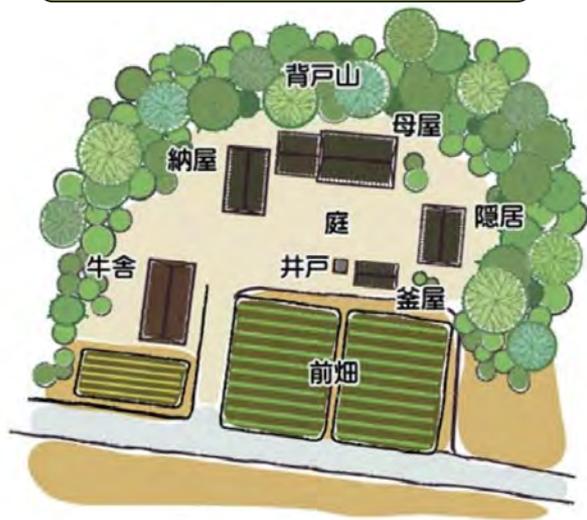


# 壱岐における森林資源の特性:暮らしとの関わり「せどん山」

壱岐市発行 景観の特性より

<https://www.city.iki.nagasaki.jp/material/files/group/18/chapter2.pdf>

## 平戸パッケージ(倉橋)



:倉橋・疑問:  
「背戸山」は整備されているか?  
上下水道が整備された中でも井戸は使われて  
いるか?  
使われている場所を拝見したい。

:倉橋・疑問:  
「背戸山」は御神体・鎮守  
の森となっている場所はあるか?

神社庁に登録されている神社だけでも 150社、その他の神社、祠(ほこら)を含めると約千社にもなる



:倉橋・仮説:  
「背戸山」は集落の水源。  
井戸がある点でも、その役割  
をしていたと推測する。

恵をもたらす御神体として  
各集落に祠や神社が設置  
されている?YES

図:「触」の散居住宅の配置パターン(平面図、立面図)

# 壱岐における森林資源の特性：海との関わり

## 潮の流れが季節によって2つの流れ：対馬海流とリマン海流

壱岐の森林面積35%のうち  
魚つき\*、防風、水源涵養かんよう林

水面に対する森林の陰影の投影、魚類等に対する養分の供給、水質汚濁の防止等の作用により魚類の生息と繁殖を助ける。

「浦」と「触」が会う



海にとって森林は養分という恵をもたらす。  
海の新鮮な海のもの、山のを神様に捧げる風習。なかでも尊ばれたものが、食べると長寿をもたらすとされていた「鮑」。昔の人は贈り物の際に、神への供え物と同じように「鮑」も一緒に贈りました。その鮑を引き延ばして(のして)干したものが「熨斗鮑」  
「寿命や幸せ、喜びごとが引きのび、続いていくように」



国崎町内会 熨斗あわび文化保存会  
<http://www.kuzaki.net/noshiawabi.html>

海のもの：熨斗アワビ



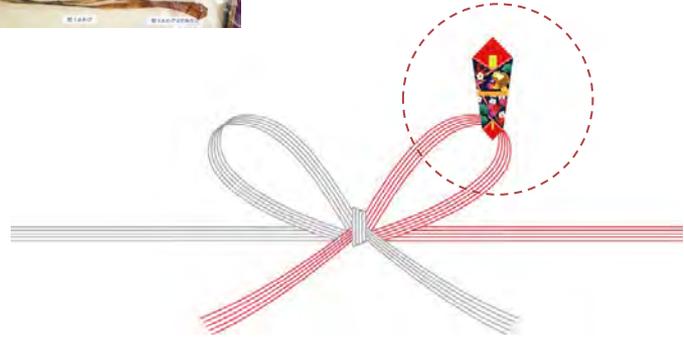
# 壱岐における森林資源の特性：海との関わり

延喜式(第24冊・主計寮上)に記載された  
壱岐から伊勢への献上品「薄鯨」

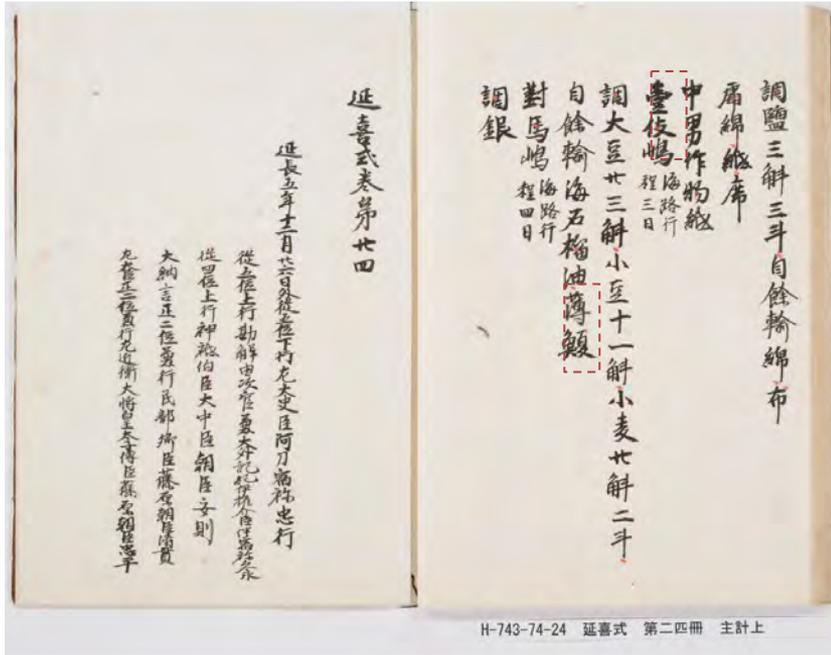


国崎町内会 熨斗あわび文化保存会  
<http://www.kuzaki.net/noshiawabi.html>

海のもの：熨斗アワビ



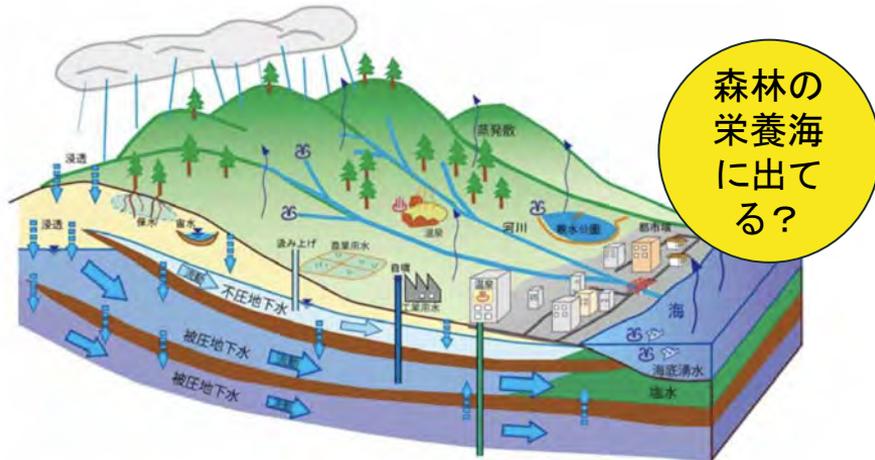
：疑問・トライ：  
熨斗鮑、壱岐で鮑本物を使っていた時期は？  
神社と海の鎮守の森ストーリーになりえるか？



# 彦岐における土中環境の特性：湧水との関わり

鎮守の森から海洋に注がれるミネラル分は、森の状態と密接に関わっているため、自然資源の有限性と循環を理解することが可能である。

自然そのものに神が宿るとする自然信仰＝水は命



出典：「都市における地下水利用の基本的考え方（地下水と上手につき合うために）」  
 （平成19年12月6日 西垣 誠 監修・共生型地下水技術活用研究会 編）に一部加筆

図2-1 水循環の模式図



## 彦岐水源の森 9箇所

|     |                          |             |
|-----|--------------------------|-------------|
| 113 | たけのつばすいげんのもり<br>岳ノ辻水源の森  | 彦岐市郷ノ浦町永田触  |
| 114 | おとしみずすいげんのもり<br>大清水水源の森  | 彦岐市勝本町布気触   |
| 115 | めおとけすいげんのもり<br>男女岳水源の森   | 彦岐市芦辺町箱崎本村触 |
| 116 | おたけすいげんのもり<br>大山池水源の森    | 彦岐市石田町池田仲触  |
| 117 | ほたけすいげんのもり<br>幡鉾川水源の森    | 彦岐市郷ノ浦町、芦辺町 |
| 118 | かつもとだすいげんのもり<br>勝本ダム水源の森 | 彦岐市勝本町本宮東触  |
| 119 | うめのみすいげんのもり<br>梅ノ木水源の森   | 彦岐市芦辺町国分川迎触 |
| 120 | みたらいすいげんのもり<br>御手洗川水源の森  | 彦岐市勝本町大久保触  |
| 121 | たにえがすいげんのもり<br>谷江川水源の森   | 彦岐市勝本町東触    |
| 小計  |                          | 彦岐振興局管内 9箇所 |

## 今後行いたい調査

- ・GISデータレイヤー分布図  
森林データと水脈と彦岐名水と神社の位置
- ・各所の窒素量の計測  
せどん山のある家の井戸、名水、枯れた名水、ダム水  
水源の森から流れる先の海

# 壱岐における景観の特性

壱岐市発行 景観の特性より

<https://www.city.iki.nagasaki.jp/material/files/group/18/chapter2.pdf>

市民意識における景観の現況(アンケート結果)  
壱岐市の景観に関する地域住民の意識調査アンケート  
(平成 25 年 10 月)  
配布数 2,500 件 / 有効回答数 1,010 件 / 回答率 40.4%

●壱岐市の景観形成について  
86.6%の市民が壱岐市全体で景観形成に取り組む必要があると考えています。

自ら守ろうとする市民意識。  
自然的景観を保つため、海岸沿いの注  
意喚起、柵を極力設置しない。



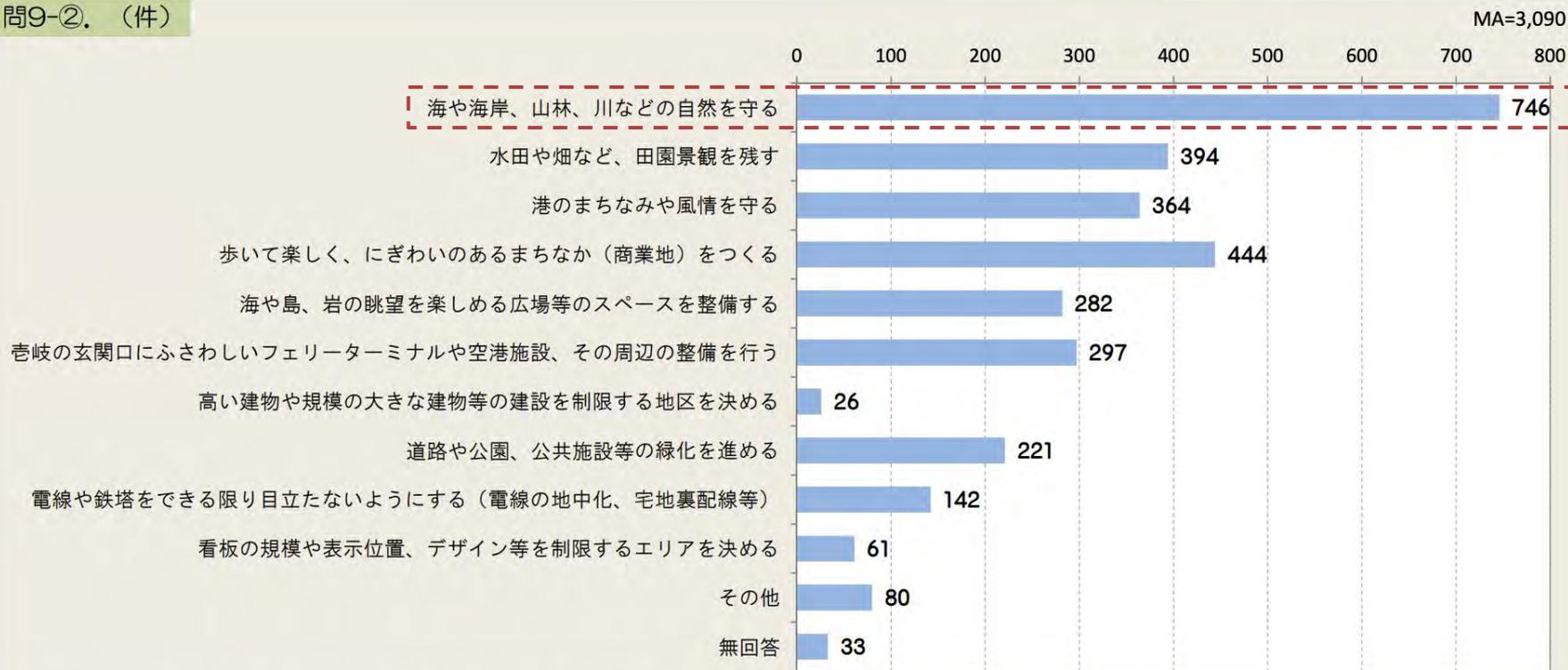
土台石



左京鼻

# 壱岐における景観の特性

問9-②. (件)



問9② 景観形成を進める際に特に重要だと思われるもの

# 壱岐における景観の特性

氏子コミュニティの単位が自治、校区とほぼ同じ！！  
鎮守の森を携えた神社コミュニティが民衆の中に残っている

自治単位が神社単位、学校、自治の単位と同じである。  
ゴミ一つない道路、肥沃な土地。

最小単位は、「講中」いくつかの社を守る



## 壱岐における風土の特性:暮らしで大切にしているものと信仰

国指定重要無形民俗文化財  
神楽舞も音楽も神職だけ=壱岐独自の特徴  
壱岐だけの呼び名「猿田彦」が「山海鬼」

壱岐神楽より

- ・「山海鬼」=「さんげーき」、鬼面(おにめん)ともいう。
- ・天孫降臨の際、「天八衢(あまのやちまた)=天の8つの分かれ道(倉橋注釈)」の神業を演じる
- ・猿田彦神は日向の高千穂の神々のご案内役

: 仮説からの疑問:

- ・なぜ神職だけ? = 壱岐神社誌にも理由の記載なし。決められた血筋の説明はある。口伝(小島さん) 壱岐から高千穂へ壱岐の神職さんが神楽を舞にいかれたと言い伝えられている。
- ・壱岐だけ山海鬼と呼ぶのは「山海経」の類似点、中国神話からの流れと結びついている? 山の神「山げ」?
  - ・神楽と暮らしの連携(注連縄作り・餅つき)

〔壱岐神楽保存会編〕

# 壱岐神楽

国指定無形民俗文化財

壱岐神楽の特徴は、  
(1) 神職のみが舞い、楽曲を奏でる社家神楽  
(2) 2畳の狭いスペースで舞う(3) 神楽殿を設けず拝殿などで神々と向き合って奉納する一  
の3点



# 壱岐の猿田彦 ＝原始の形

鬼棒(ざい)  
鬼面の鼻がそのまま

大体が2舞人だが壱岐では  
1舞人で**大変ゆるやか**。

本来は1時間以上  
現在は35分なのでもっとゆっくりを  
目指すべきだと考えておられる。  
(住吉大社禰宜談)

類似例) 四天王寺聖霊会の  
日本最古の獅子舞(四方結界)

\* 鏡岳神社は天狗の鼻だが  
それ以外は鼻は低い



# 壱岐神楽と融合：平戸神楽・猿田彦（別名なし）

平戸神楽の由来は、元亀年間(1570～1573)に松浦氏の領地となった壱岐の神職が、平戸の松浦氏の居城をおとずれ、壱岐の御竈祭の神楽を舞い、その後に平戸の神職も加わって神楽が行われるようになったといわれています。

現在の平戸神楽の基礎は、松浦家29代鎮信(天祥)の時代に、壱岐出身の神職で国学者であった橘三喜が、正保年間(1644～1648)に全国各地の一の宮を巡拝して調査研究を重ね、24番におよぶ平戸神楽を完成させたと伝えられています。



(写真) 亀岡神社

<https://kameoka-j.jp/pages/12/>



# 他の神楽・猿田彦

備中神楽(岡山県)  
保存会

<https://youtu.be/34QQjCD6ADc?si=xUPLf710PI5>



石見備中神楽(島根県)



比婆荒神神楽社  
「猿田彦の舞」



## 壱岐における風土の特性:暮らしで大切にしているものと信仰

### 小嶋武廣さん(漁師引退のちボランティア・ガイド・ヨギー)

#### 民間信仰のレイヤーをそのまま纏ったようなお方

いつも地域でお祈りする場所: **まち石**:

「おじゅうず・珠数」いつもお堂に置いている石を回しながら・36回

「こうち」毎月:決められた日にやる大きい玉が来たとき、額につけて「ア」といいながら、自分の想いを込める。

女性や子供、老若男女みんなで

「散華散華六根清浄/おやまにまします・えんしょう金剛」を36回と唱えるその後、南無大師遍照金剛を唱える、そのあと皆でご飯を食べる。

「あまちゃ」を4/8に毎年飲む

「はくぶつごん(白仏言)」を書き柱の根っこね、四角の紙に書いて、逆さに差し込む蛇や邪気を追い払う



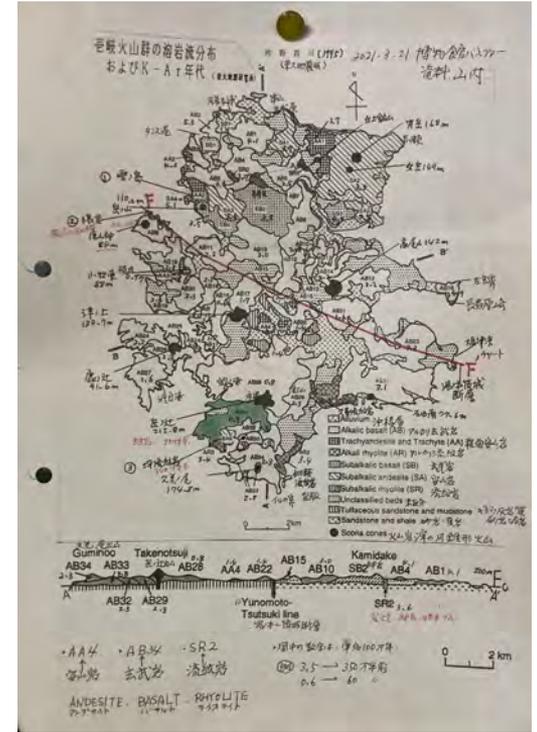
まち石＝自然崇拜 / 散華散華六根清浄＝修験道・神仏習合  
やまにまします・えんしょう金剛・南無大師遍照金剛＝密教  
4/8甘茶＝江戸時代民間療法＋顕教で広がる釈迦降誕会  
白仏言＝禅宗(曹洞宗)＋民間まじない

民間信仰に壱岐の信仰のレイヤーが残っている＝  
民間信仰とコミュニティ

# 壱岐における風土の特性:暮らしで大切にしているものと信仰

## 山内まさし先生(元教師・壱岐の植生・郷土歴史)

壱岐を複数の視点から深く理解し  
探求する壱岐知の巨人  
独自で研究



民間信仰に壱岐の信仰のレイヤーが残っている=  
民間信仰とコミュニティ